



mIRaI 通信



～輝く「未来」の中に「伊里」はある～

9月15日「中秋の名月」でした



9月15日…今年はこの日がピッタリ「中秋の名月」でした、46年ぶりだそうです。お天気が残念ながら曇りぎみでしたが、お空にしっかりとお月さまが見えたでしょうか。ギリギリになりましたが、職員室前のコーナーも「お月見」バージョンにしてみました。

「満月」「どんより雲」「おだんご」「ススキ」「ウサギ」「虫の声」…全てが秋らしさを表し、情緒あふれる日本の光景です。

以前、美術の授業でカレンダーを作っていた時、自分が一番イメージしやすい月の作品から作っていくのですが、毎年ほぼ一番人気は9月で、9月を選んだ生徒のほとんどが、この「お月見」をモチーフに作品を作っていました。それだけイメージとして豊かに存在する「中秋の名月」です。リーンリーンの虫の声をバックに、涼しい風に吹かれながら、優雅に浮かぶ月や、風にそよぐススキを觀賞しながら、おだんごをいただく…そんな生活をしたいものです。

そして一気に、「旬の食べ物サンプル」も秋模様に衣替え。今年は「七輪」の上に「サンマ」を置いてみました。香ばしい香りが漂ってきませんか？そして、秋と言えど「マツタケ」、秋の野菜の天ぷらをご用意いたしました。天つゆでなく、お塩でお召し上がりください。オッと忘れちゃいけない、私の秋の定番「豚汁」ももちろんあります。あったかいうちにどうぞ。





学校の風景2点をご紹介します



15日の学校の風景を2点紹介します。

まずは朝の光景から。毎朝頑張って校門に立っていますが、2学期となるとやはり部活動を引退した3年生がゆっくりの登校となります。8時前には満タンだった自転車置き場も、今は3年生のスペースはガラガラです。これも時の流れなのですが、寂しい自転車置き場を見ると、「ああ2学期だなあ。3年生も次のステージだなあ」としみじみ思います。

続いてはマット運び。吉永中学校の体育会用に貸し出していたマットが2枚、15日の放課後返ってきました。何人かの先生に手伝ってもらって倉庫に入れようとした瞬間、何と言うタイミングか、帰りの会を終えた(屈強な)3年男子たちがゾロゾロと。「これは何ておいしい」などとは露にも思わず、「手伝ってくれ〜!」と頼むと、気持ち良く「ヨイショ〜!」と手伝ってくれました。これには吉永中の教頭先生も感心してくれていました。生徒たちは「運が悪かったあ〜」と思ったのか、「役に立てて気持ち良かったあ〜」と思ったのか…?もちろん後者ですね、手伝ってくれた3年生諸君(苦笑)。



カモがアヒルを連れて帰ってきた?



夏休みの間は、なかなかエサをやれず、そのうち、前の大谷川がせき止められ、カモも上がってこれなくなってしばらくご無沙汰でしたカモちゃんズ。最近は線路向こうの三角コーナーが定住地となっていました、また再びチョコチョコと顔を見せてくれるようになりました。

しかも嬉しいことに、アヒルちゃんたちも仲間に引き入れたのか一緒に上がってきました!

現在14羽。また前の川が賑やかになってきました。